

《履修上の留意事項》開講前に必ず指定教科書を準備し、開講時に配付する補足講義資料とともに講義の際には持参すること。  
 なお、講義内容がすべて補足講義資料等に掲載されているわけではないので、必要に応じてメモ等をとること。

《担当者名》 予防医療科学センター教授 / 岡村 敏弘 t-okamura@

### 【概要】

社会保障制度の1つである医療保険の仕組みを理解し、診療報酬請求事務の基礎を学ぶ。また、臨床現場で働く歯科医師と歯科衛生士から歯科衛生士の働きについて学ぶ。

### 【全体目的】

日本の医療保険制度の基本的知識を習得し診療報酬明細書の基本的な記入方法や留意点について理解する。また、将来の歯科衛生士としての働き方について理解する。

### 【学修目標】

- ・医療保険制度の基本的なルールを学ぶ。
- ・診療報酬明細書（レセプト）の基本的な記入方法等について理解する。
- ・医療情報の取り扱いにおける留意点について学ぶ。
- ・特に歯科衛生士として理解しておくことが必要な歯科点数表の項目における正しい解釈を学ぶ。
- ・歯科衛生士としての様々な働き方について理解する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	日本の医療保険制度	日本の医療制度の概要、類型、保険診療について学ぶ。	岡村敏弘
2	日本の医療保険制度	保険診療の流れ、診療報酬請求、診療録と診療報酬明細書（レセプト）との関連性について学ぶ。	岡村敏弘
3	診療報酬明細書と医療情報の取り扱いについて	診療報酬明細書（レセプト）の記載における基本的な留意点（傷病名、略称、摘要欄の記載、未来院請求など）、医療情報の取り扱いにおける留意点について学ぶ。	岡村敏弘
4	歯科点数表の正しい解釈について	歯科診療において、歯科衛生士として特に理解しておくことが必要な算定項目（初診料、歯科衛生実地指導料、歯周病検査、歯周基本治療、歯周病安定期治療、歯周病重症化予防治療）について、診療報酬請求上の留意点について学ぶ。	岡村敏弘
5 6	歯科衛生士の働きについて ・課題レポート	歯科医師が考える歯科衛生士の働きについて理解する。	蓑輪隆宏
7 8	歯科衛生士の働きについて ・課題レポート	歯科衛生士のフリーランスとしての働き方について理解する。	高林由季

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

定期試験50%

課題レポート50%

上記の項目を総合的に評価する。

**【教科書】**

「歯科衛生士のための歯科診療報酬入門 2024-2025」公益社団法人日本歯科衛生士会 監修，医歯薬出版  
補足講義資料を配付する

**【参考書】**

「歯科衛生士のための歯科医療安全管理 第2版」尾崎哲則 藤井一維 編，医歯薬出版

**【学修の準備】**

教科書を必ず事前に準備し、開講時に配付する補足講義資料とともに講義時に持参すること。

予習として、学修内容で示している授業内容および学修課題に関する項目を教科書等で確認し、基本的用語等を理解しておく。  
(15分)

復習として、講義内容を補足講義資料と教科書で確認する。(20分)